

令和
7年度

環境研究総合推進費の 新規課題を公募します

公募期間

2024年 9.13(金) → 10.18(金)

応募方法

「府省共通研究開発管理システム(e-Rad)」にて受付

環境研究総合推進費は、気候変動問題への対応、循環型社会の実現、自然環境との共生、環境リスク管理等による安全の確保等、持続可能な社会構築のための環境政策の推進にとって不可欠な科学的知見の集積及び技術開発の促進を目的として、環境分野のほぼ全領域にわたる研究開発を推進しています。

公募の開始にあたり、「令和7年度新規課題公募説明会」を開催します。

環境研究を行っている、または関心をお持ちの研究者の皆様、大学・研究機関や企業で研究活動の企画・マネジメント等に携わる皆様のご参加をお待ちしています。

令和7年度新規課題公募説明会を開催します

● 第1回 公募説明会(推進費制度や公募の概要)

環境研究総合推進費制度や推進戦略等の概要について、ERCA及び環境省より説明いたします。プログラムオフィサーによる研究マネジメントのアドバイスや現在実施している課題の研究代表者の体験談などが聞けます。

日時 2024年8月23日(金) 14:00~15:50(予定)

開催方法 オンライン開催

参加方法 事前登録制(ERCAホームページからお申し込みください)

● 第2回 公募説明会(令和7年度新規課題公募の内容)

令和7年度新規課題公募の内容、申請書作成の留意点等について、ERCA及びプログラムオフィサーより説明いたします。また、行政要請研究テーマ(行政ニーズ)について、環境省より説明いたします。

日時 2024年9月20日(金) 10:30~17:00(予定)

開催方法 オンライン開催

参加方法 事前登録制(ERCAホームページからお申し込みください)

● オンライン個別相談会(通年開催)

ERCAでは、環境研究総合推進費への応募を予定又は検討している研究者や研究推進部門ご担当者等を対象にオンラインの個別相談会を開催しております。

ご相談内容に応じて、研究課題の進捗管理・助言・指導を行っているプログラムオフィサーやERCAから説明等を行いますので、希望される場合はERCAホームページからお申し込みください。

日時 (基本)木曜日

16:00~17:00

(申し込み状況により、上記以外でも開催する場合があります)

相談時間 1組あたり30分以内

オンライン(Webex)での個別相談

若手研究者の研究区分を設置

- 研究期間3年以内
- 予算規模 各年600万円以内又は300万円以内

公募説明会や公募の最新情報はERCAのホームページにてお知らせします。

<https://www.erca.go.jp/suishinhi/koubo/>



人文・社会科学分野から自然科学分野まで、多様な分野の研究を募集

実証・実用化を目指している研究・技術開発も支援対象



環境研究総合推進費

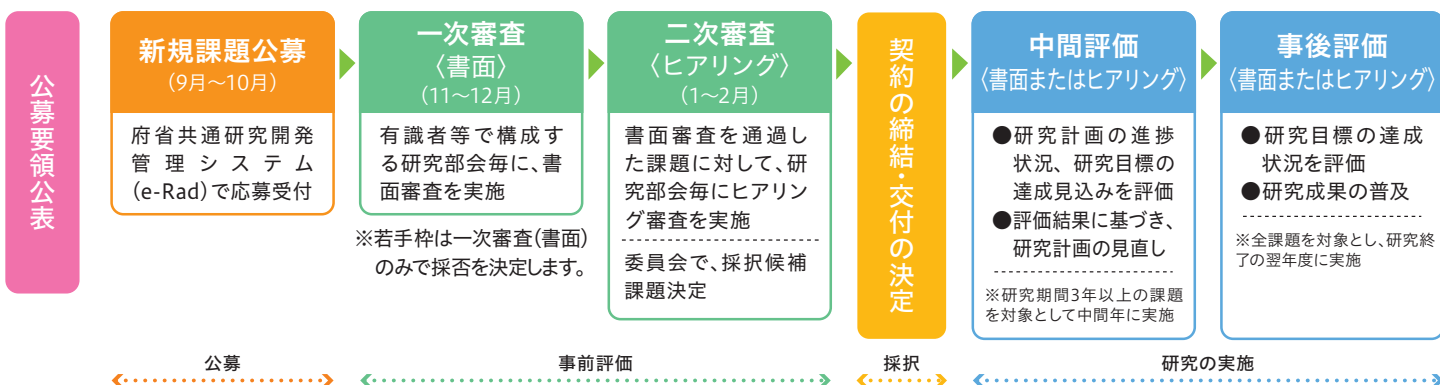
Environment Research and Technology Development Fund

令和7年度新規課題公募区分

公募区分	研究開発費の支援規模 ^(※1)	研究期間	委託費・補助金の別
環境問題対応型研究			
環境問題対応型研究(一般課題)	4,000万円以内/年	3年以内	委託費
環境問題対応型研究(技術実証型) ^(※2)	4,000万円以内/年		
環境問題対応型研究(ミディアムファンディング枠)	2,000万円以内/年		
次世代事業 ^(※3) (補助率1/2)			
ア.「技術開発実証・実用化事業」	1億円以内/年	3年以内	補助金
イ.「次世代循環型社会形成推進技術基盤整備事業」	2億円以内/年		
革新型研究開発(若手枠)			
革新型研究開発(若手枠A)	600万円以内/年	3年以内	委託費
革新型研究開発(若手枠B)	300万円以内/年		
戦略的研究開発 ^(※4)			
戦略的研究開発(Ⅰ)	3億円以内/年	5年以内	委託費
戦略的研究開発(Ⅱ)	1億円以内/年	3年以内	

- ※1 間接経費(30%)、消費税を含む1年間の上限額。
- ※2 環境問題対応型研究(技術実証型)は、技術開発成果の社会実装を進めるため、当該技術の実用可能性の検証を行う課題。
- ※3 「技術開発実証・実用化事業」は、環境問題対応型研究等で得られた技術開発等であって、全ての研究対象領域において、実証・実用化を図ることを目指した事業、「次世代循環型社会形成推進技術基盤整備事業」は、資源循環領域において、廃棄物の安全かつ適正な処理、循環型社会の形成推進に関するもので、実現可能性、汎用性及び経済効率性が見込まれる技術を開発する事業。
- ※4 「戦略的研究開発」は、公募に際して、あらかじめ環境省が研究プロジェクトを構成する研究テーマを提示し、各テーマを構成する研究課題(サブテーマ)を公募します。

スケジュール

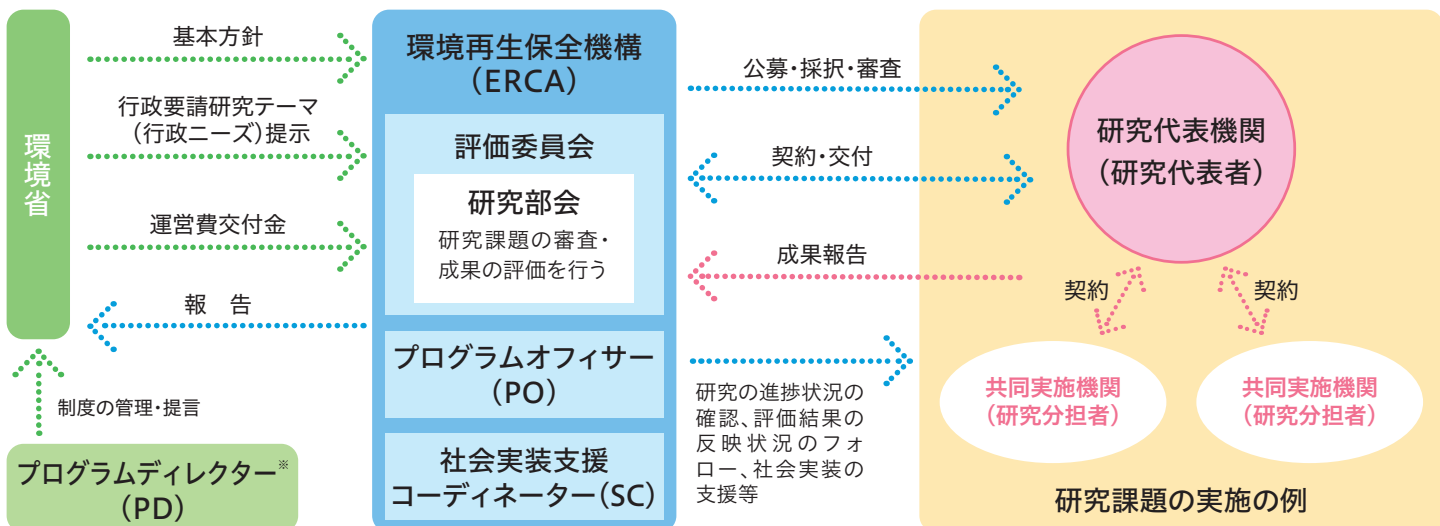


研究の実施体制について

ERCAは、推進費の配分機関として、研究費の配分・契約や、外部有識者等による委員会の設置、新規課題の公募及び審査、中間・事後評価等の業務を行っています。推進費の基本方針の検討・策定、行政要請研究テーマ(行政ニーズ)の策定・提示、環境政策への活用及び推進費制度全体の管理・評価については、環境省で実施しています。

研究期間中は、基本的に各課題に1名のプログラムオフィサー(PO)を配置し、研究の進捗状況の確認や中間評価結果のフォローアップを実施します。

また、社会実装支援コーディネーター(SC)が研究成果の社会実装を支援します。



※環境省では、豊富な研究経歴のあるプログラムディレクターを配置し、制度の適切な運用を行います。



独立行政法人環境再生保全機構 環境研究総合推進部

〒212-8554 神奈川県川崎市幸区大宮町1310番 ミューザ川崎セントラルタワー9階 TEL: 044-520-9509 FAX: 044-520-9660
E-mail: erca-suishinhi@erca.go.jp URL: https://www.erca.go.jp/suishinhi/ X(旧Twitter): https://x.com/ERCA_suishinhi



この印刷物は、E3PAのゴールドプラス基準に適合した地球環境にやさしい印刷方法で作成されています
E3PA: 環境保護印刷推進協議会
http://www.e3pa.com

この印刷物は、国等による環境物品等の調達の推進等に関する法律(グリーン購入法)に基づく基本方針の判断の基準を満たす紙を使用しています。